共栄通商株式会社

2023年度　環境経営レポート

（対象期間:2023年　6　月　1　日～2024年　5　月　31　日）

項　目	ページ
環境経営方針	1
1.組織の概要(事業所名、所在地、事業内容、事業規模)	2
2.対象範囲（認証・登録範囲）	2
3.実施体制及び役割・責任・権限	3
4.環境経営目標及びその実績	4
5.環境経営計画の取り組み結果とその評価	4～5
6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	6
7.代表者による全体の評価と見直し・指示	6
8.過去の環境目標の実績推移	7

発行日：2024年 8月20日

改定日：2025年 4月17日

ごあいさつ

共栄通商株式会社は、化学工業薬品及び産業資材、産業用設備・機器、高圧ガス等を取扱う総合商社です。昭和４４年の設立以来、多くのお客様から絶大なる　信頼とご支援を賜り、今日を迎えております。
弊社は、エコアクション２１に基ずく環境経営システムを構築し運用開始する　ことにより、地球環境に優しい企業を目指して、新たな一歩を踏み出しました。　これを全従業員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に　　取り組んで行くことを宣言致します。

環境経営方針

〈環境経営理念〉

当社は、事業活動において、環境関連法規を遵守すると共に、環境負荷の低減を図り、全従業員が、自主的及び積極的な取組を推奨します。

〈環境保全への行動指針〉

1. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油、ガス）
2. 水使用量の無駄を低減します。
3. 廃棄物を抑えて古紙、ダンボール、缶、ドラム缶、の再資源化を推進します。
4. リユース容器を使用した製品の販売を促進します。
5. 漏洩事故を防止する為、人的・物理的対策を策定します。
6. 化学物質の適正管理を行います。
7. 事業所周辺の美化活動を推進します。
8. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2017年4月11日
改定日：2024年8月20日
代表取締役　　福谷　直也

1.組織の概要

1）名称及び代表者

共栄通商株式会社
代表取締役社長　　福谷　直也

2）所在地

本社・倉庫	〒675-0045	兵庫県加古川市西神吉町岸100番地の1
志方倉庫	〒675-0314	兵庫県加古川市志方町上冨木120番地の77

3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者　　奥村　知史
ＴＥＬ　　079-431-2587

4）事業内容

化学薬品、産業資材、産業用設備・機器、高圧ガスの販売

5）事業規模

	本社	志方倉庫	合計
従業員	20名	0名	20名
延床面積（㎡）	513	221	734
敷地面積（㎡）	850	400	1250

2.対象範囲（認証・登録範囲）

1）登録組織名

共栄通商株式会社

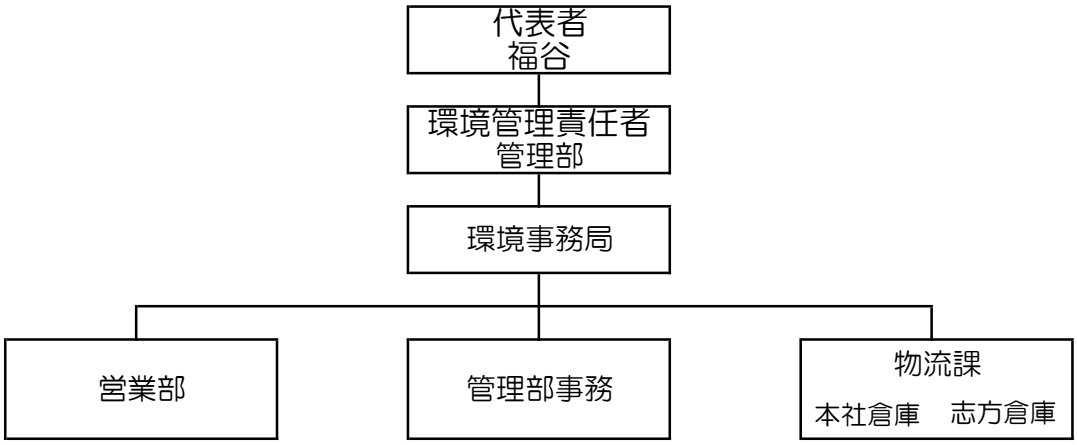
2）対象事業者

本社・倉庫、志方倉庫

3）事業活動

化学薬品、産業資材、産業用設備・機器、高圧ガスの販売

3.実施体制及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者(社長)	• 環境経営に関する統括責任 • 効率的で必要十分な実施体制の構築 • 環境管理責任者の任命及び各自の役割・責任・権限を定めた全従業員へ周知 • 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 • 経営における課題とチャンスの明確化 • 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 • 環境経営目標・環境経営計画書を承認 • 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	• 環境経営システムの構築、実施、管理 • 関連関係法規制等の取りまとめ表を承認 • 環境経営目標・環境経営計画書を確認 • 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 • 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び統括 • 環境活動の取組結果を代表者へ報告 • 環境経営レポートの確認 • 事務局と共に想定される事故及び緊急事態への対応の為の手順書の作成 • 事務局と共に必要な手順書の作成及び手順書による訓練の実施、記録の作成
環境事務局	• 環境管理責任者の補佐 • 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 • 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 • 環境活動の実績集計 • 環境関連法規制等の取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 • 環境教育訓練計画の作成と実施の管理 • 環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
全社員	• 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 • 決められたことを守り、自主性・積極的に環境活動へ参加

4.環境経営目標及びその実績

評価基準：目標値/実績値×100＝達成率100%以上 ○(達成)、100%未満～90% △(やや未達成)、90%未満 ×(未達成)

		2017年度(基準年度)	2023年度(基準年度の94%)		達成率	評価	2024年度(基準年度の93%)	2025年度(基準年度の92%)
		(基準年度実績値)	(目標値)	(実績値)			(目標値)	(目標値)
電力使用量による二酸化炭素の削減	kWh	18,481	17,372	15,745	110%	○	17,187	17,002
	kg-CO_2 Ⓐ	5,711	5,368	4,865			5,311	5,254
都市ガスによる二酸化炭素の削減	㎥	44	41	26	157%	○	41	40
	kg-CO_2 Ⓑ	93	87	55			87	85
車両燃料使用量による二酸化炭素の削減	ガソリン(L)	11,894	11,180	8,847	126%	○	11,061	10,942
	kg-CO_2	27,614	25,956	20,525			25,680	25,405
	軽油(L)	14,397	13,533	10,710	126%	○	13,389	13,245
	kg-CO_2	37,783	35,516	28,060			35,138	34,760
	kg-CO_2 合計 ©	65,397	61,472	48,585	126%	○	60,818	60,165
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO_2 (Ⓐ+Ⓑ+©)	71,200	66,928	53,505	125%	○	66,216	65,504
一般廃棄物の削減	ｋｇ	492	492	475	103%	○	492	492
水使用量	㎥	194	194	190	102%	○	194	194
薬品廃棄物の撲滅 化学薬品の適正管理	適正管理					○		
事業所周辺の美化活動	月一回の持ち回りでの清掃活動							

※関西電力の二酸化炭素排出係数は、0.309kg-CO_2/kWh（2021年度の調整後排出係数）

5.環境経営計画の取組結果とその評価

評価：◎よくできた　○：できた　△：まあまあできた　×：できなかった

電力による二酸化炭素削減	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・空調温度の適正化(冷房：26℃、暖房：22℃)	○	空調機器の入れ替えによって、大幅に削減することが出来た。又室内の温度状況を考えて空調管理を行っている為、無駄な使用は見られなかった。来期も業務に影響が出ない様、空調の使用管理を行っていく。
・不要照明の消灯	◎	
・節電ラベルの貼り付け	◎	
・業務効率化(就業時間の短縮)	△	

車両燃料による二酸化炭素削減	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・不必要なアイドリング停止	◎	急発進・急加速の抑制。早めのブレーキなど安全運転やエコドライブ実施の周知。又効率の良い運航計画の推進などで燃料使用量を削減。次年度も定期的な啓蒙活動にて従業員の意識の向上に努めます。
・急加速の禁止	◎	
・エコ運転の呼びかけシール貼付け	○	
・過積載の禁止	◎	

都市ガスによる二酸化炭素削減	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ガス漏れ点検	◎	夏場のお茶の炊き出しがなくなり、水出しに切り替えた為、使用量を大きく削減できた要因。来期も継続して行っていく。

水使用量	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・節水ラベルの貼りだし	◎	今年度は、年度初めと年度末に社屋の工事があり使用量が増えているが、普段の使用量が少ない為に目標を達成出来た。来期も引き続き節水意識の喚起を行っていく。
・手元コックの取付	◎	

一般廃棄物の削減	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・分別の徹底	◎	分別処理が出来ており、一般廃棄物の排出量は抑えられている。来年度も継続して行い、実数量を測りより削減できるように活動していく。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	

薬品廃棄物の撲滅	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業ミスによる廃棄量の削減	◎	不良在庫による排出量はゼロでした。

環境に配慮した販売活動	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・作業ミスによる薬品漏洩	◎	今年度も、適正管理がなされており、漏洩事故、盗難、紛失等問題事案は発生しませんでした。次年度も継続して活動していく。
・商品の盗難、紛失の予防	◎	
・リユース容器の保全	◎	

化学薬品の適正管理	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・在庫管理、識別表示、漏洩防止、施錠管理	◎	在庫管理（棚卸）、使用量の把握は行えている。

事業所周辺の美化活動	取組状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・月一回の持ち回りでの清掃活動	◎	今年度も月一回の清掃活動が行えており、本社周辺は綺麗に保たれている。来年度も引き続き活動を行っていく。

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

（１）適用となる主な環境関連法規

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物(廃プラ等)、処理委託契約・マニフェスト発行・管理、保管基準遵守	遵守
水質汚濁防止法	有害物質(液状)、貯蔵施設、地下水汚染(アンモニア)、事故時の措置、届出	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機、簡易点検、記録保存（廃棄後３年）、廃棄時のフロン回収義務	遵守
化学物質排出把握管理促進法	第一種指定化学物質、第二種指定化学物質、対象化学物質把握、SDS交付	遵守
自動車NOx・PM法	対策地区内で排ガス規制に適合した車両の使用	遵守
消防法(危険物)	屋内貯蔵所危険物の保管、貯蔵届出、消火器設置等	遵守
毒物及び劇物取締法	飛散、漏れ、流れ出、浸み出し、地下への浸みこみ防止	遵守
高圧ガス保安法	帳簿、販売事業届、販売主任者選任届、事故届	遵守

（２）遵守状況評価結果並びに、違反、訴訟の有無

※遵守状況評価結果について

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

（３）違反、訴訟について

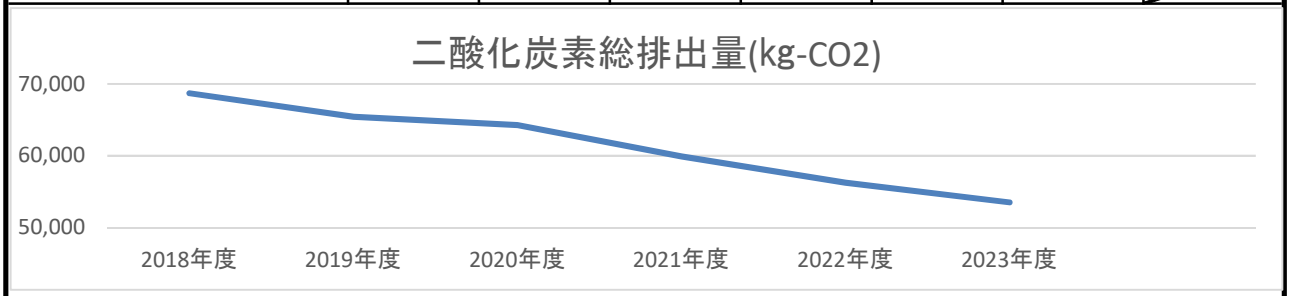
違反、訴訟等、関係当局からの指摘は過去３年間ありませんでした。

7.代表者による全体の評価と見直し・指示

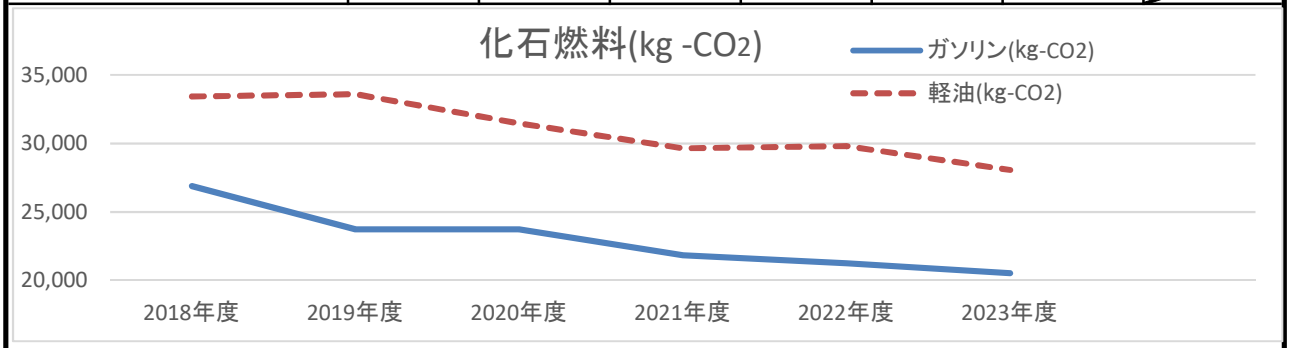
全体評価・コメント　　代表取締役　　福谷　直也		
総合的に二酸化炭素排出量の目標は、省エネ空調機器の導入や昼間の消灯、パソコンの電源等気付いたところから無駄をなくし削減、達成できた。全社活動として取り組むにあたり、日頃の業務にエコアクションの活動が馴染むよう現状に満足することなく、更なる浸透を徹底する。また、社内で車両事故が立て続けに発生しており、薬品の漏洩事故同様に社員への安全意識の向上につとめる。		
見直し項目	変更の必要性	変更の必要性、指示事項
1.環境経営方針	有	項目.1にガスを追記する
2.環境経営目標	無	
3.環境経営計画	無	
4.実施体制、その他	無	

8.過去の環境負荷の実績推移

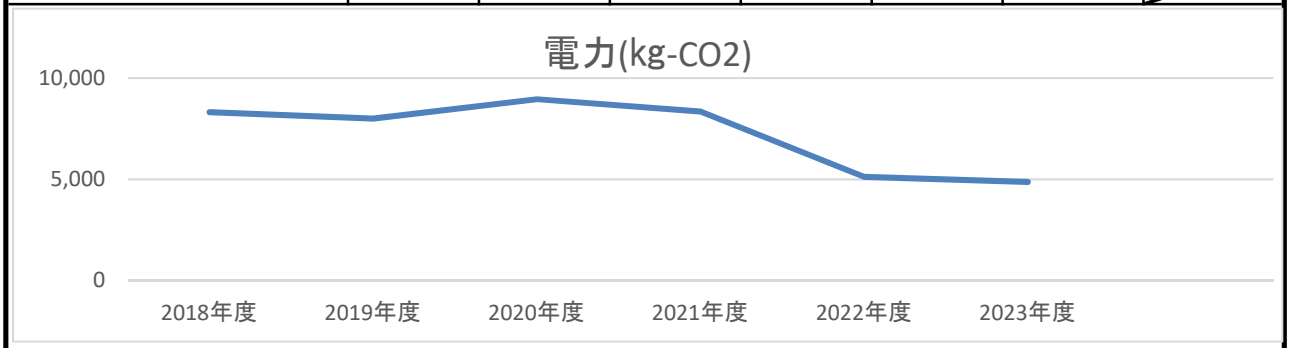
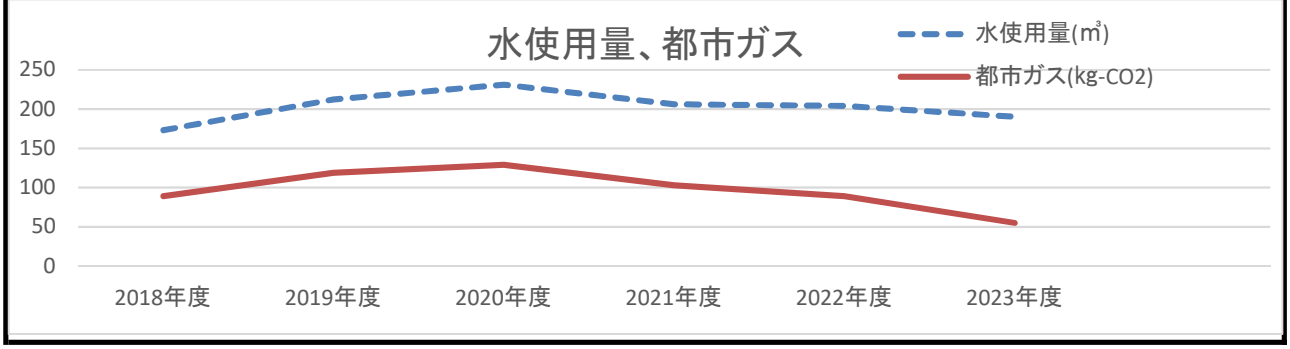
項　目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素総排出量(kg-CO2)	68,712	65,437	64,282	59,929	56,263	53,505	



項　目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ガソリン(kg-CO2)	26,884	23,723	23,723	21,835	21,248	20,525	
軽油(kg-CO2)	33,425	33,599	31,474	29,639	29,807	28,060	



項　目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電力(kg-CO2)	8,314	7,995	8,957	8,352	5,119	4,865	



項　目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
水使用量(㎥)	173	212	231	206	204	190	
都市ガス(kg-CO2)	89	119	129	103	89	55